



# 緑小だより

令和4年6月30日  
墨田区立緑小学校  
校長 川寄 貞昭

<http://www.sumida.ed.jp/midorisho/>



「われらは世界のまことの幸福を<sup>たず</sup>索ねよう

求道すでに道である」 宮沢賢治

校長 川寄 貞昭

6月が終わります。なんとなく他の月と比べて、よい印象のない月です。梅雨になってムシムシして雨が多く降るのに「水無月」と言ったり、この月が酷暑の始まりなので、服装の無礼をとがめない「六月無礼」という言葉もあります。ここからは、どんどん暑くなっていきます。子供たちには、体調管理に気を付け、学校生活を送ってほしいと思います。

6月4日に運動会を行いました。学年ごとに徒競走と表現の演技を行いました。子供たちは、練習の成果を十分に発揮し、笑顔で頑張っていました。当日は、多くの保護者、ご来賓にお越しいただきました。また、朝早くから受付等の手伝いをしていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。大きな拍手をいただき、子供たちも励みになったことと思います。まだ、移動教室など大きな行事が続きます。引き続き御理解、御協力をお願いいたします。

以前、岩手県に行ったときに、宮沢賢治の記念館等を訪れました。「銀河鉄道の夜」や「雨にも負けず 風にも負けず・・・」などを書いた賢治は、単なる童話作家ではなく、科学者・天文学者・農業技術者でもありました。いつも「すべての人が幸福に」を信条として活動していました。

なぜ賢治のことを書いたかという、「世界全体が幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない」という彼の言葉を思い出したからです。彼は、地球の幸福を身をもって念願した人であり、その念願の通りに、真に生きた人だったのです。

最近のニュースを見ていると、この先、世界はどうなってしまうのだろうというようなものを多く見かけます。今の時代は、政治・文化・経済など、すべてのことが外国との関係なしには考えられない時代になりました。様々なことを、協力し合いながら進めていく時代です。宮沢賢治の大きな理念で、一人一人が、まず自分の身の回りのできることを実行してほしいと思います。そして、広い心の持ち主になり、他人のことも考えられる人になりたいものです。

## 2年生の様子

2年担任 虎走 絵三子

いつも元気いっぱい、好奇心旺盛な2年生。昨年度までと異なる時程にも、だいぶ慣れてきました。生活科の学習では、トマトを種から育てています。自分たちのトマトに名前をつけ、小さな種から芽が出て大きく茂っていく様子を観察したり、間引きをしたり、中には途中で虫に食べられてしまったり、また種をまき直したり…。日々変わっていくトマトちゃん。新しい発見をしながら、実がなることを楽しみに育てています。

また、先日、トウモロコシの皮むきの体験をしました。旬の野菜と関わりながら、育てること・調理することの大変さを知り、食に対して感謝の気持ちを育てていきたいと思っています。

